

2013年12月 東都生協NO₂測定濃度分布図

2013年12月5日(木)～12月6日(金)に測定した
NO₂(二酸化窒素)の測定結果をお知らせします。

人の健康に悪影響を与える汚染物質、イオウ酸化物(SOX)、一酸化炭素(CO)、窒素酸化物(NOx)、炭化水素、浮遊粒子状物質(SPM、PM2.5)などは主に自動車から出る排気ガスが原因です。
東都生協は、身近なところの空気を実際に測って自分たちで確かめ、きれいな空気を取り戻すにはどうすればよいかをみんなで考えていくために、1988年から二酸化窒素NO₂測定活動を実施しています。

2013年12月の測定結果

今回、NO₂(二酸化窒素)の濃度は全体的に高い結果になりました。測定日の風速が低く、自動車の排気ガスのNO₂(二酸化窒素)が滞留した影響と思われます。また、都内の主な大気汚染常設監視測定局で測定したNO₂平均濃度では、道路沿い(0.040ppm)、住宅地(0.049ppm)と、濃度差が狭まる結果になったことが報告されています。

